



筑波大学附属大塚特別支援学校 校長 川間 健之介

## 2023年度 学校評価アンケートの集計結果について

昨年12月に実施をしました、2023年度「学校評価アンケート」の集計結果につきまして、ご報告いたします。ご家庭の皆様からいただいた貴重なご意見を、次年度の学校運営・教育活動に活かして参ります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

### 1. 概要：アンケートの回答数：59件（回答率86.7%） 22年度 95.8%、21年度 87.5%、20年度 91.9%

内訳（幼稚部 4/4、小学部 21/23、中学部 16/18、高等部 18/23）

昨年度見直したアンケート項目を用いて質問しております。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことを受け、項目10の感染症対策についての評価は欠番としました。回答方法はwebフォームとさせていただきます。また、皆様にご記名のお願いもしております。項目は設問1と2が基本情報、3～15が記号による回答、16と17が記述による回答となっております。いただいた回答は集計し、校内で共有しております。

### 2. アンケートの質問項目

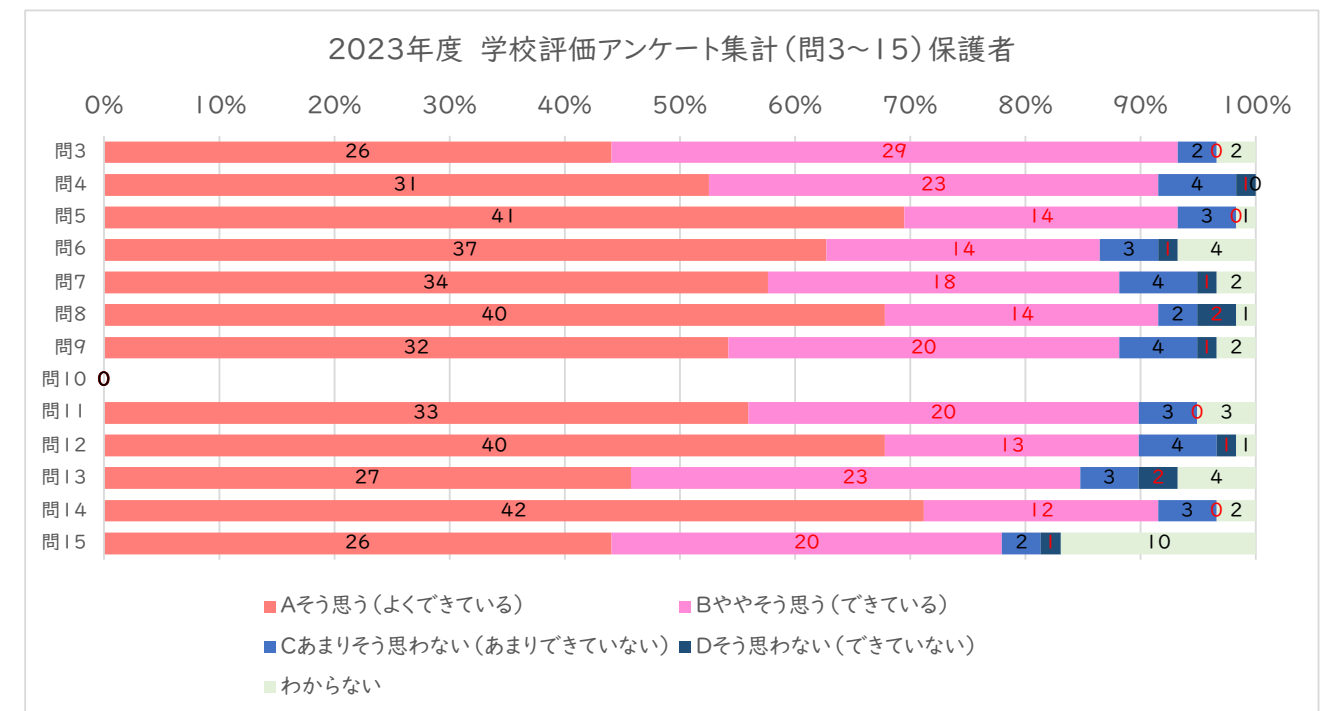
2023年度「筑波大学附属大塚特別支援学校・学校評価アンケート」

【記号回答の評価の尺度】

A	B	C	D	※
そう思う (よくできている)	ややそう思う (できている)	あまりそう思わない (あまりできていない)	そう思わない (できていない)	わからない

1. お子さんの所属学部 幼稚部・小学部・中学部・高等部 (お子さんの所属学部をチェック)
2. 回答された方の氏名 (任意)  
(3～15は記号でお答えください。)
3. 保護者(私)は、学校教育方針・目標、学校運営方針を理解している。  
[https://www.otsuka-s.tsukuba.ac.jp/page1\\_12.html](https://www.otsuka-s.tsukuba.ac.jp/page1_12.html)
4. 学校の様子は、連絡帳、学級だより、学校からの便り、メール、ホームページなどからの情報でよく分かる。
5. 学校へ電話をかけたときや学校訪問した際の、教職員の対応が丁寧である。
6. 学級や学部の授業は工夫が見られ、達成すべき目標が分かりやすく設定されている。
7. 学級や学部のきまりが守られており(守ろうという促しがあり)、規律が整っている(規律を整えようとしている)。
8. 本校の幼児児童生徒は、表情が明るく生き生きと学校生活を送っている。
9. 学校行事は、社会情勢を踏まえつつ、学校生活や学習活動の成果を発揮できるよう設定されている。
10. 昨年度は感染症対策について質問しました。年度比較のためこちらは欠番とします。無回答のまま11にお進みください。
11. 学校は施設設備の安全管理や美化清掃を適切に行っている。
12. 保護者面談では、個別の教育支援計画や、個別の指導計画の丁寧な説明がなされており、家庭と十分に共通理解が図られている。
13. 学校は、進路指導や将来を見据えた指導を計画的に行っている。
14. 学校と教職員は幼児児童生徒の人権を尊重し、適切に接している。
15. 本校の教育活動や発信する情報は社会に貢献している。  
(16、17は記述回答となります。)
16. 本校の教育活動の中で、特に評価できる点についてお書きください。(記述)
17. 本校の教育活動の中で、改善して欲しい点などありましたらお書きください。(記述)

### 3. アンケート集計(問3～15)



### 4. 記号回答に関して

数値評価についてのご報告です。今回は回答率が9.1%（約5人分）下がっております。全校の母数が68と少ないので、アンケートに際しては適切な期間の設定やリマインドなど、回答率の向上のための協力をお願いして参ります。問3～15が選択肢で答えるもので、そのうち問3～14までの回答がAとBの肯定的な評価が80%以上となっております。問15については尺度のCとD、および「わからない」を合わせた評価が20%を超えており、今年度の学校の取り組みについて説明が十分でない、もしくは改善が必要な項目であると認識し検証することとしました。その他の項目についてもそれぞれ分析し一部は本紙面で説明させていただきます。

#### ○問15：本校の教育活動や発信する情報は社会に貢献している。

59回答のうち10件が「わからない」を選択されており、その原因を質問自体の曖昧さと、取り組みを評価しうる情報提供の少なさにあるのではないかと分析しました。今年度の対外的な取り組みは、コロナ禍3年間に比べると国内や海外からの問い合わせや見学依頼・情報提供依頼が多くあり、参観の受け入れと資料の提供などを行いました(15団体122人)。書籍雑誌等への執筆で発信した情報はHPに情報を掲載しています。また、学校外支援の取り組みは長年継続しています(86機関205件<3月予定含む>)。社会への貢献については来校者へのアンケートのデータなど判断の材料となりうる資料を今後用意していきます。各取り組みに関する情報をアンケート上からURLで参照できるようにするなど、情報の示し方を工夫してから評価できるよう、今後改善して参ります。

#### ○問7：学級や学部のきまりが守られており(守ろうという促しがあり)、規律が整っている(規律を整えようとしている)。

価値観が多様化している現代社会において、幼児児童生徒にとって、分かりやすく、守るべき価値を示し、肯定的に捉え生活に活かせるよう、指導を継続しています。今年度は度々ご家庭にも学校から具体的なお願いをお伝えさせていただきました。ご協力ありがとうございました。評価ポイントが若干改善しましたので、引き続き指導や学校生活において留意して参ります。

#### ○問9：学校行事は、社会情勢を踏まえつつ、学校生活や学習活動の成果を発揮できるよう設定されている。

社会情勢とは生活様式の変容・コロナ禍後の社会の様子・学校の役割の変化・教員の働き方改革などを含んでおります。昨年に比べ若干数値が改善しておりますが、記述でたくさんのご意見を頂戴しているところでもあります。教育活動の重点化や新たな価値づけなど、行事について引き続き検討して参ります。

### 5. 記述回答に関して

記述の項目は2点です。問16. 本校の教育活動の中で、特に評価できる点についてお書きください。問17. 本校の教育活動の中で、改善して欲しい点などありましたらお書きください。記述回答では多くのご意見を頂戴しました。本校の教育活動への共感やご賛同、励まし、感謝のお言葉。疑問点や改善を要望するお言葉。いろいろな見解などです。皆様のご意見を原文でご紹介することはできませんが、検討を続け今後の学校運営、教育活動にフィードバックしていきます。

### 6. まとめ

記号評価、記述評価ともに教育活動へ反映したものや、口頭で解説を行うべき事柄など、次年度の学校経営説明会(4月12日)にて補足説明をさせていただきます。会へのご参加もどうぞよろしくお願いいたします。

今年度の学校評価アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。